

■ 緑字決算対象項目の選定と重み付けに関わったメンバー

緑字決算はその時代のニーズや課題に合わせて対象とする項目を見直し、重要度も再検討することになっています。  
2005年度から2007年度までの活動を評価する緑字決算対象項目の選定と重み付けには下記のメンバーが参加しました。

同志社大学 経済学部	教授	郡 嶋 孝
京都府立大学 人間環境学部	講師	山 川 肇
グリーンマーケティング研究所	主任研究員	前 浜 三四郎
	主任研究員	中 路 達也
	研究員	錫 木 圭一郎
宝酒造	環境広報部長	中 嶋 哲
	環境課長	大 豊 規至
	環境課 専任課長	藤 原 邦夫
	環境課	井 上 哲也、北村 理恵

※所属・役職は2005年3月当時

■ 従来の緑字決算からの改定ポイント

- ① (株)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会環境委員会の委員の方々からのご意見や、インターネットの市民投票によるご意見を取り入れ、より市民の皆様とのコミュニケーションを強化しました。
- ② CSR会計への第一歩として、社会貢献に関する2項目を追加しました。
- ③ 地球温暖化問題を重視し、CO<sub>2</sub>排出量を、生産部門CO<sub>2</sub>と物流部門CO<sub>2</sub>に分離しました。
- ④ 生産工程の廃棄物は、リサイクル率では高い水準に達しているため、今年度からは総量の削減を追加しました。
- ⑤ 中期経営目標とISO14001の目標、及び緑字決算対象項目を連動させ、目標を一本化しました。

■ 重み付け投票詳細

	生産				物流	オフィス		営業	容器	社会	
	エネルギー 使用量	用水使用 量	CO <sub>2</sub> 排出 量	廃棄物 排出量	CO <sub>2</sub> 排出 量	電力使 用量	コピー用 紙使用量	営業用車 の低公害 車導入率	環境配慮 型商品販 売量	社員のボラ ンティア活 動参加人数	社会貢献 活動費用
市民投票平均値	4.39	4.05	4.46	4.26	4.45	3.57	3.55	3.90	3.71	3.19	3.33

↓ 有識者、宝酒造担当者の重み付けとともに整数化

評価値	市民	有識者	宝酒造
市民	4	4	4
有識者	3	2	5
宝酒造	3	2	5

↓ 3者の評価を平均し、整数化

5段階評価	3	3	5	3	4	3	2	4	4	3	3
5段階評価	3	3	5	3	4	3	2	4	4	3	3

↓ 1%改善=1ECOになるように、平均値で割った数字を重み付け係数とします

重み付け係数	0.89	0.89	1.49	0.89	1.19	0.89	0.60	1.19	1.19	0.89	0.89
重み付け係数	0.89	0.89	1.49	0.89	1.19	0.89	0.60	1.19	1.19	0.89	0.89

■ 投票の詳細結果

緑字項目ごとの重み付け 市民投票分布

重み付け値	エネルギー 使用量	用水使用 量	CO <sub>2</sub> 排出 量	廃棄物 排出量	CO <sub>2</sub> 排出 量	電力使 用量	コピー用 紙使用量	営業用車 の低公害 車導入率	環境配慮 型商品販 売量	社員のボラ ンティア活 動参加人数	社会貢献 活動費用
5	70	48	83	67	78	33	33	45	38	19	22
4	49	51	31	38	36	34	30	43	36	27	36
3	12	31	18	25	19	44	53	35	51	59	53
2	2	4	2	3	0	21	15	7	5	19	12
1	1	1	0	1	0	2	3	4	5	11	12
平均値	4.39	4.05	4.46	4.26	4.45	3.57	3.55	3.90	3.71	3.19	3.33

■ 投票者 内訳

性別	人数	年齢	人数	職業	人数
男性	91	70代以上	1	会社員・自営業	83
女性	46	60代	6	学生	12
		50代	27	NPO・NGO	12
		40代	31	主婦	11
		30代	45	教職員・研究者	11
		20代	25	その他	7
		10代	2	公務員	5
合計(人)	137	合計	137	のべ	141